

**第 49 回（令和 2 年度）全国豆類経営改善共励会
農林水産大臣賞受賞者
概 要**

大豆 集団の部

農事組合法人 ファームひなの里（山形県西村山郡河北町）

大豆作付面積	23.0ha（令和 2 年度）				
品 種	里のほほえみ	単 収	179kg/10a	上位等級比率 (1 等及び 2 等)	85.6%
	シュウリュウ		312kg/10a		
	スズユタカ		245kg/10a		
	秘伝		93kg/10a	労働時間	7.5hr/10a

【集団活動の状況】

平成 27 年 1 月に法人設立（農事組合法人ファームひなの里）。河北町谷地南部地域の農業者 32 名を組合員とし、農地は全組合員から借受け。組合員の所得向上と次代の担い手の育成を図るため、農地中間管理事業を活用し規模拡大に取り組む。

【経営上の特色】

大豆作は、生産調整の重要品目であるとともに、水稻との農業経営の 2 本柱の一つ。高収量を上げてきた実績があり、経営所得安定対策の直接支払交付金も大きな収入源。栽培面積も増加傾向で、今後も主要品目として継続して栽培を行う予定。当該法人の有機質資材を施用した栽培法は、連作ほ場における地力の維持増進の有効な技術として町内の生産者に広く普及し、現在、河北町の大豆の単収は常に県平均を上回っている。

【栽培技術上の特色】

○多収化に向けた取組

転換田での連作であることから、土づくりを重視して春先に発酵鶏糞のみ施用。雑草対策として中耕・培土を 2 回実施し、残草は手取りにて対応。

○高品質大豆生産に向けた取組

大粒で収量性が高くコンバイン収穫適性に優れる「里のほほえみ」を主力品種として栽培。莢数確保と稔実向上のため、開花期から莢形成期にかけて土壤乾燥時に畝間灌水を徹底。汚損粒の発生防止のため、成熟期から 7 日以上経過し、茎・莢水分が 20% 以下での収穫を行うとともに、残草や青立株の手取り除草を徹底。

○省力化

農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約と団地化の推進により作業を効率化。また、耕うん・播種から刈取、乾燥・調製までの機械化一貫体系、病害虫防除（無人ヘリ防除）の作業委託による省力化。

【販売・消費拡大への取組】

○タンパク質含有率が高く豆腐の加工適正に優れる「里のほほえみ」

地元の豆腐製造業者に出荷し、地場産大豆を使用した地産地消豆腐として製造業者、消費者から好評を得ている。

○納豆用として実需者ニーズの高い「スズユタカ」の導入

納豆組合との契約栽培。「ファームひなの里」オリジナル納豆の商品開発（地元の産直施設で販売、河北町のふるさと納税の返礼品や学校給食に提供）。

農事組合法人ファームひなの里

(山形県西村山郡河北町)



農事組合法人ファームひなの里のみなさん



「ファームひなの里」オリジナル納豆